

総務常任委員会  
予算常任委員会総務分科会

(平成26年11月26日)

○ 森 康哲委員長

それでは、総務常任委員会を開会いたします。

議案の審査に入りますが、その前に、両部長よりご挨拶をお願いします。

○ 辻総務部長

おはようございます。本日は11月定例会議会の初日という大変お忙しい中、日程的にご無理をお願いしまして、委員会を開催していただき本当にありがとうございます。

ご案内のとおり、平成26年12月14日に衆議院議員総選挙の予定がございます。私どもといたしまして、適正な選挙事務の執行に向けて着実に準備を進めてまいり所存でございますが、関係予算につきましてどうかよろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

どうも、本日はありがとうございます。

○ 内田財政経営部長

財政経営部長の内田でございます。

皆さん、おはようございます。

大変お忙しい中、四日市市一般会計補正予算（第6号）についてご審議いただくわけでございますけれども、適正な選挙事務の執行ということで予算を計上してございますので、どうかよろしくお願いたします。

○ 森 康哲委員長

傍聴者が1名入られておりますので、よろしくをお願いします。

それでは、議案第88号平成26年度四日市市一般会計補正予算（第6号）についての審査に入りたいと思います。

議案第88号 平成26年度四日市市一般会計補正予算（第6号）について

○ 森 康哲委員長

それでは、理事者におかれましては、資料の説明をお願いします。

## ○ 大森選挙管理委員会事務局次長

選挙管理委員会事務局次長の大森でございます。よろしくお願いいたします。

では、お手元の補正予算書（２）の12ページ、13ページ、こちらのほうが今回の衆議院議員選挙の歳入でございます。

14ページ、15ページが歳出となっております。

もう一つ、別紙にて、こちらの平成26年度11月補正予算（第6号）案の概要という資料がございますので、この資料に基づいてご説明申し上げます。

この資料を1枚めくっていただきますと、裏側に先ほどの歳入歳出、合わせて7969万9000円の金額がございます。

また、次の3ページに、その約8000万円になるこの予算の内訳等を記載しております。

まず、1番目、今回の衆議院選挙においては、前回の選挙と同数の当日投票所として61カ所、そして、期日前投票所は4カ所ということで、これも昨年の参議院議員選挙と同じ場所を確保することができました。

それから、（２）の期日前投票所の開設時期と時間につきましてですが、総合会館につきましては平成26年12月3日、これは公示日の翌日でございますが、この日から選挙の前日の平成26年12月13日の土曜日まで開設させていただく予定であります。また、三重北勢健康増進センター、防災教育センター、中消防署中央分署、この3施設につきましては平成26年12月6日の土曜日から平成26年12月13日の土曜日までということで開設させていただく予定でございます。開設時間につきましては、4カ所とも午前8時半から午後8時までということになっております。

3番目の開票所、これにつきましては、昨年の参議院議員選挙と同様に四日市ドームで午後9時半から開票をさせていただくということになっておる予定でございます。

次に、（４）予算の概要につきまして、主なものをご説明申し上げます。

まず、（１）の報酬、470万円ほどでございますが、これは投票所における投票管理者や投票立会人並びに開票所における開票管理者及び開票立会人の報酬でございます。

次に、（３）職員手当、これにつきましては、投票、開票に従事する職員の時間外手当でございます。

7番目、賃金につきましては、投開票事務に従事する臨時職員の手当でございます。

（８）報償費は、選挙広報の配布の謝礼でございます。

9番目、これは旅費でございます。これは説明を省略します。

11番目、需要費、こちらは広報よっかいち選挙特集号の印刷経費や開票所で使用する投票用紙計数機の修繕費用や投票所での消耗品費などでございます。

12番目の役務費につきましては、投票所入場券、これは約13万通出しますが、これの郵送料でございます。

13番目、委託料は、選挙運動用ポスター掲示場の設置並びに撤去、先ほど申し上げました投票所入場券の印刷と封入の経費、それから、選挙事務に従事者を派遣する派遣委託の経費等でございます。

14番目につきましては、自治会が所有する投票所や開票所である四日市ドームの使用料、投票所で使用するパソコンのレンタル料などでございます。

以上、総額で7969万9000円を計上させていただいております。

また、その経費につきましては全額国費ということで計上させてもらっておりますので、よろしくご審議をお願い申し上げます。

以上でございます。

#### ○ 森 康哲委員長

説明はお聞き及びのとおりでございます。

ご質疑がございましたらご発言をお願いします。

#### ○ 山本里香委員

この大枠というか、全体に異議があるわけではないのですが、ちょっと確認というか質問をさせていただきたいと思います。

公営の掲示板の設置箇所というのは変更がたびたびあるのかどうかということなんですけど、前回のときに、例えば、坂部台にはなかったように思うんです。私の見間違いでなければなんだけど、いろいろな情報を聞くと、坂部台がなかったとか新しくできてきた団地などで、それぐらいの規模だったらあっても当然だなというところがないということがあるように思うのですが、あと、西坂部も開発されてまいりましたので、そのところの変更というのは今回はあるんでしょうか。

#### ○ 大森選挙管理委員会事務局次長

今回は、解散からわずか11日で設置しなければならないという非常にタイトな中で、まず第一にしっかりと確実に設置するために、前回の参議院議員選挙のときと同じ場所でやるということで期間短縮を図っております。

先ほど、委員さんがおっしゃって見えましては、投票区の投票人の数、それから、投票区の面積によって基本的に公職選挙法施行令で決まっております。ただし、その数については増減が可能です。これは、各選挙ごとに地元の自治会の意見とか、それから、先ほどおっしゃって見えまして新しくまちができたとか、そういう状況の変化を地元の地区市民センターを通じてすくい上げて、それから、県の選挙管理委員会にも協議いたしまして数を変えるということはこれまでもやってまいりました。

しかし、今回の衆議院議員選挙に限っては日数が少ないということで、その辺のことは協議する余裕がございませんでしたので、前回の参議院議員選挙と同じ数で設置するものでございます。

#### ○ 山本里香委員

期間が短いということで、前回と同様、それは全部を完璧に平等にという言い方はおかしいけど、決まりの中で網羅するということが難しいと思うのですが、終わった後で反省等が出てくると思うので、それをまたしっかり酌んでいただいて、ところによっては大変密にあるところとか、そういうことも伺い、ないところがあるというふうなこともあって、終わったら考えるということをもっと今後お願いしたいと思います。

#### ○ 笹岡秀太郎委員

この総務常任委員会のほうでも、特に61カ所の投票所ですが、選挙当日に箇所によって駐車場の問題とかいろんなことがこの委員会でも出されて、それに向けていろいろ改善もなさっていただいておりますので、ありがたいなと思っておりますが、特に今回、参議院議員選挙をそのまま適用されるということですから、投開票に関する当日の投票所、特に、特化すると、何らかの問題も幾つか届いておると、こう思っていますので、そのあたりの改善点といいますか対応をきちっとされているかということだけ確認をさせてください。この予算に対しては特にございませんので。

#### ○ 大森選挙管理委員会事務局次長

各投票所の投票管理者宛てに毎回、選挙終了後にアンケートの形で課題とかそういう問題点を聞き取るようにしております。今回もそのアンケートをもとに、各投票所の次回の投票管理者に対して配慮するようなことで確実な選挙を執行したいと思っております。

○ 笹岡秀太郎委員

安心しましたので、それ、しっかりと取り組んでください。

以上です。

○ 藤井浩治委員

急な解散総選挙ということで、時間が余りない中で一生懸命頑張っておられると思いますが、先ほどおっしゃった看板とか、それから、マンパワー、これはもう十分確保できる予定なんではないでしょうか。

それから、もう一点。

投票率の向上について総務常任委員会でこれまで種々議論をしてきたところなんですけれども、今回、特にその向上について何かお考えがあるのかということと、あわせて、期日前投票所の開設期間なんですけれども、総合会館とその他の開設日が異なると、これまでもこういうやり方をされておったんですかね。何か混乱を起こす危険性があるので、できれば統一すべきだと思うんですが。

以上です。

○ 大森選挙管理委員会事務局次長

まず、看板のところから、これは現在も建設中のごさいますて、何とか月末までに完了できると。ただ、その後、各地区市民センターが確実に設置されているかを確認いたしまして選挙管理委員会のほうに報告が参ります。これは対応できると思っております。

また、期日前投票所の開設期日なんですけど、これは4カ所同時にということもあるんですけど、今までの投票の実績からいたしますと、入場券が届いてから投票に行かれて、それも、最初の土日にかなりたくさんいらっしゃるというふうな実績を踏まえて、最初のところは1カ所だけですが、残りのところは最初の土日にいらっしゃることを想定して土曜日からということにしております。

それから、投票率のことですが、確かにこれは選挙管理委員会の課題ということで、現

在、統一選挙に向けていろんな方策等を練っておりますが、今回の衆議院議員選挙に限っては、いろんな啓発物資とか、それから、いろんな啓発活動等、12月に臨時啓発ということで、日曜日に県の選挙管理委員会と一緒に四日市駅前で行うという、これはしっかり決めましたが、独自の啓発活動というところではまだちょっといろんな、懸垂幕の啓発とか入場券による啓発とか、その辺のところを変えて考えておるところでございます。

あと、マンパワーのところにつきましては、今回、投票、開票合わせて約800名の市職員を動員する予定でございます。非常に多数の職員に力添えをいただくということで、選挙管理委員会も今その人選に携わっているところでございます。

### ○ 藤井浩治委員

今回、急なことということで、大体事情はわかりましたけれども、次の選挙の際には投票率向上に向けて、先ほどの山本委員のお話もありましたので、ぜひとも改善を図っていただきたいと。

それから、期日前投票所の開設期間なんですけど、やはりこれは統一すべきだと思うんですが、この辺は、今回はやむを得ないということにしても、次回の選挙から改善、改革をなさる気はないんですか。

### ○ 辻総務部長

投票率の向上あるいは選挙の利便性という意味では、今、藤井委員さんから重要なお指摘を頂戴しました。このあたり、十分考えさせていただかないかと思っております。ただ、1点だけ、今までこういう期間が違うという中には、先ほど次長のほうから選挙の投票が中心になるのが前週の土日という話がありましたが、それとともに、今回の場合でありましても、例えば、平成26年12月3日から期日前投票をするので、衆議院議員への投票はその日からできるんですけども、最高裁判所の国民審査の期間が違ってありましたり、特に、統一地方選挙で知事選と県議選の日程が違っていたりしまして、実は、日程が違うことで現場が混乱するというのも今まで課題として上がってきてございました。例えば、知事選だけ投票に来られて、県議選はまだ告示前であるとか、その辺の事情もありますので、そのあたり、先ほど次長が答弁を申し上げましたが、これまでのやはり課題としても上がってございますので、そのあたりのバランスが少し、再度確認はさせていただきたいと思いますが、ただ、投票の利便性向上あるいは、それは非常に投票率にも関係する重要

なことだと思っていますので、それらについては少し調整をさせていただきたいと存じます。

以上でございます。

○ 藤井浩治委員

わかりました。

○ 森 康哲委員長

他にございませんか。

(なし)

○ 森 康哲委員長

他に質疑もないようですので、これより討論に移ります。

討論がありましたらご発言願います。

(なし)

○ 森 康哲委員長

討論もないようですので、続いて、全体会へ送るかどうかの確認を行います。

本件については、全体会に送らないこととしてよろしいでしょうか。

(異議なし)

○ 森 康哲委員長

異議なしと認めます。

それでは、採決を行います。

特段、反対討論もありませんでしたので、簡易採決とさせていただきます。

それでは、議案第88号平成26年度四日市市一般会計補正予算（第6号）について、可決すべきものと決することにご異議ございませんか。



(異議なし)

○ 森 康哲委員長

ご異議なしと認め、本件は可決するべきものと決しました。

[以上の経過により、議案第88号 平成26年度四日市市一般会計補正予算（第6号）について、採決の結果、別段異議なく可決すべきものと決する。]

○ 森 康哲委員長

それでは、理事者は退出してください。事務局はインターネット中継をとめてください。それでは、その他事項に移りたいと思います。

12月9日に総務常任委員会を実施する予定であります。その常任委員会の中で所管事務調査を実施するかどうか、あらかじめ確認をさせていただきたいと思います。

それでは、何かご意見のある方、発言をお願いします。

○ 笹岡秀太郎委員

ぜひ開催をしていただきたいなと思っておりますが、一つは、現在、総務常任委員会でも過去何度となく入札制度の課題等について議論し、理事者においてはその対応策を鋭意取り進めてきていると。ただ、それを含めてもさまざまな課題が出てきているというのがやっぱり現在の入札制度の姿ではないかなという気がするんですけども、そこで、あらためてやはりこの入札制度について、しっかりともう一度検証していく必要があるのではないかという思いがしておりますので、ぜひ所管事務調査事項として取り上げていただければなというようなことを思っておりますので、ご討議ください。

○ 森 康哲委員長

他にございませんか。

(なし)

○ 森 康哲委員長

ないようなら、今、笹岡委員から提案をいただいた入札制度について、12月9日から始まる総務常任委員会の中で所管事務調査として実施することにしてよろしいでしょうか。

(異議なし)

○ 森 康哲委員長

それでは、そのようにさせていただきますので、よろしく申し上げます。

本日の委員会はこれまでといたしますので、お疲れさまでございました。

10 : 38 閉議